

2月定例記者会見

▽日時:令和2年2月20日 午前10時30分から

▽会場:市役所3階321会議室

▽参加記者(記者):読売新聞、茨城新聞、朝日新聞、毎日新聞

▽参加者(市):市長、副市長、教育長、政策調整部長、総務部長、危機管理監、保健福祉部長、産業建設部長、教育部長、上下水道部長、秘書広聴課長、政策企画課長、総務課長、財政課長、環境課長、廃棄物対策室長

■資料

別紙のとおり

■市長あいさつ

改めまして、おはようございます。記者の皆様には、大変お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より、本市の情報発信にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、連日、新型コロナウイルスによる国内での感染拡大が報道されており、収束の兆しが見えない状況が続いております。今後も、さらなる感染拡大が憂慮される事態となっておりますが、本市におきましても、引き続き庁内に設置した「新型コロナウイルス警戒本部」を中心に、関係機関との連携密にしながら感染予防、まん延防止に万全を期して参りたいと考えておるところでございます。本日は、来週25日開会予定の令和2年第1回稲敷市議会定例会に上程する議案等について、ご説明させていただきます。

今期定例会は、令和2年度予算をはじめとする重要事項を審議いただく、大変重要な定例会でございますので、議会、そして市民の皆様にご理解をいただけるよう、しっかりと説明して参る所存でございます。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

■質疑応答(概要)

【圏央道稲敷東IC周辺地域官民連携まちづくり推進事業について】

Q:強い農業・担い手づくり総合支援事業は県や市の負担はあるか。

A:国費のみ。市の負担による持ち出しはない。

Q:整備費用予算の48億円は第1エリアのみでの費用か。

A:9ヘクタールの部分のトマトハウスのみでの事業費。第1エリア全体では約80億円かかる。

Q:オープン時期は。

A:令和2年度にトマトハウスを作り、作付。令和3年度から収穫を目指す予定。

【ピカピカ1年生応援商品券補助金について】

Q:稲敷独自の政策か。

A: 独自かと思う。他市ではランドセルを提供することが多いが、稲敷市では市内にランドセル販売が少ない。この形にした方が市内の経済活性化につながるという考え。現在の対象予定者は232人である。令和3年度入学者が対象で、7月に商品券を配って入学準備に使ってもらふ意図。プレミアム商品券などで作業に慣れている商工会に委託する。市長の公約である子育て支援を履行した形。

【稲敷工業団地開発推進事業について】

Q: 埋蔵文化財調査を行う5遺跡はどのような遺跡か。

A: 石岡までつながっていた旧東海道が近くを通っていたと思われ、住居跡などが試掘で見つけられている。まだくわしいことはこちらでは把握していない。専門家によれば、記録保存ですむだろうという見解。開発許可後に本調査が行われる予定。

【母子防災包括セットについて】

Q: 母子防災セットのきっかけは。

A: 去年の台風など、防災意識の高まりに伴い要望もある。年4回のマタニティ講座を行っている場で配布予定。これは教室の参加者が伸びない現状があり、参加率向上のために導入する意図もある。200セットを予定。

Q: いつから配るのか。

A: 新年度6月頃のマタニティ教室から配る予定。

【ワゴン車運行業務委託について】

Q: ワゴン車を使用したデマンド交通ということか。

A: あくまで定時運行の形。運行ルートは資料参照をお願いしたい。曜日に分けて運行している。車1台を市で購入、運行のみ業者委託。

【桜つつみライトアップについて】

Q: 桜つつみのライトアップ時期について、決まっているか。

A: 具体的な期間は決まっていない。来春3月下旬から4月など、開花時間に合わせて2週間程度を想定している。

【成田国際空港騒音対策事業について】

Q: 対象者と予算はどのくらいか。

A: 今年は1億1千万の予算で、200件が対象。昨年度は70件ほどだった。予算が増えているのは、事業を6か年かかる計画であることから。6か年で1000件程度が対象。

【桜川地区小学校の統廃合について】

Q: 統合する桜川地区で、閉校される学校の今後の使い方は決まっているか。

A: 未定。桜川小学校の開校は、令和3年4月を予定。生徒数は230人くらいである。